



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2017/8/9発行

第25号

第4回 GMHセミナー
青少年スピーチ

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

グローバルメンタルヘルスセミナーで 成長ストーリーのスピーチ披露

8月5日、第4回グローバルメンタルヘルスセミナーが京都大学にて行われ、約500人が参加しました。



メンタルヘルスと教育がテーマの第一部では、グローバルサイバー大学ジャンレヒョク教授による「人工知能VS自然知能」、日本ベンジャミン人間性英才学校の品川玲子校長による「地球市民を育てる脳教育の教育革新モデル」と題した講演が行われました。

3人の生徒による青少年スピーチも行われ、ベンジャミン学校での変化や成長ストーリー、見つけた自分の夢や今後の目標について、発表しました。正直な体談、自信と希望に満ち溢れた笑顔に、参加者から大きな拍手が送られました。

「チエンジ！」
川井ミクルさん
(ベンジャミン学校2期生)



これまで2度、学校に通えなくなった経験のあるミクルさん。しかしベンジャミン学校で、自分が興味のあることに自由に挑戦するベンジャミンプロジェクトを行う過程で、「自分の人生は生き方次第で変わる」「私は私だ、私のままでいいんだ」とありのままの自分を受け入れることができるようになったそうです。今はシンガーソングライターという夢に向かって100人規模のライブを行うプロジェクトを頑張っています。

「脳教育と出会って」
池上まりかさん
(ベンジャミン学校1期生)

ベンジャミン学校に入学して、自分の夢が明確になりました。まりかさん。それまではただいい大学に行き、いい仕事に就くという、漠然とした将来しか見えなかったそうです。しかしベンジャミン学校で仲間と議論したり発表することを重ね、ニュージラランドや韓国に行き、言葉の違いを越えて自分の意見を伝えることで、自己省察がよくなるというになり、「助産師になる」という夢を見つけました。



「地球市民意識を通して夢を見つける」
磯貝クリスさん
(ベンジャミン学校2期生)

帰国子女のクリスさんは、これまで多くの悩みを抱えてきました。そしてその苦勞は、彼女に周りとは違うことを許しませんでした。ベンジャミン学校で「地球市民」という考え方を知り、周りの人と違ったとしても、アクションを急ぐべき地球環境問題について話し合ったり、積極的に行動する自信がつかまりました。



ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

